

広報

もっと身近に もっと知りたい

2013
4
April

とび



- 特集 平成 25 年度予算が成立 2
- 当別町の少子化対策は 6
- 現代を生きる 工藤正次さん 12

石狩川には毎年多くの渡り鳥が（ビトエ 昨年4月下旬撮影）

少子化対策元年 まちの魅力を積極的に発信



3月定例町議会において泉亭町長から平成25年度予算編成の概要が説明されました。

平成25年度は、少子化対策元年と考えています。

平成23年度に設置した「まちの未来推進室」では、1年以上かけて「当別町少子化対策戦略プラン」を、役場内に横断的な検討組織を設置しつつ、住民意向を把握するために各種アンケート調査や官民が一体となった「住んでみたい当別推進会議」や「商工会の次世代育成特別委員会」などとの協議を経て策定しており、今月中にまとめる平成25年度から計画に沿って様々な施策を展開してまいります。

当別町の子ども数は、急速に減少しています。策定した戦略プランにより少子化対策のさらに具体的な時期や規模などの事業内容を精査、検討しながら進めることとしていますが、少子化は全国的な課題であり、かつ複雑な要因が重なり合う難しい事象であり、単なる制度改正や事業実施等により一朝一夕で改善する課題ではないと考えています。

まちの個性を押し出しつつ、子どもが健やかに成長できる環境をつくること、若年者が親となり充実感のある生活が可能となる環境をつくることが重要であり、経済支援だけでなく、安心できる施設の整備や地域のつながり、優しさが実感でき、まちの魅力を町内外へ発信し、住んでいることに誇りを感じられるようにすることなど「安心して子育てができるまち」に向けた着実な積み重ねが功を奏すると考えています。

平成25年度では、具体的に進める施策の検討及び準備を始めることとしていますが、地域すべての子どもたちを、地域の住民が優しく見守り、支え、健全に成長さ

せる町であることをアピールして行くため、発達障がいなど心配される子どもが安心して育んでいくことのできる地域とするために、「子ども発達支援センター」の整備に着手します。

防災・災害対策については、2年前の東日本大震災の教訓を踏まえて、改めて「公助」はもとより、「自助」「共助」の大切さを痛感したところでもあります。

なかでも情報収集、発信が最重要と考え、「緊急エリアメール」「全国瞬時警報システム（J-アラート）」の導入、「北海道行政総合情報ネットワーク」のシステム更新などを実施してきたところです。

また、災害時の応援協定につきましても北海道医療大学など町内の民間団体のみならず、大規模災害を想定し、東日本大震災における大崎市の迅速な支援を手本とし、姉妹都市である宮城県大崎市、愛媛県宇和島市とも、平成23年11月に、災害時の支援協定の締結をしたところです。さらに、東日本大震災の際、大崎市と当別町を繋いだのが、衛星携帯電話でありました。固定電話や携帯電話が不通になり、災害時の通信手段の重要性が再認識されました。町は災害対策本部と関係機関や被災現場等との通信手段を確保するため、衛星携帯電話の導入も図ります。

災害時の備蓄等に関しては、「流通備蓄」を基本としながらも、更なる強化を図るべく、応急対応分となる「保管備蓄」の整備を平成24年度より開始しました。平成25年度も年次計画に基づき、防災備蓄等の整備を進めます。

町有施設の耐震化については、災害時の対策拠点となる役場庁舎の耐震診断を行います。

役場庁舎は、昭和45年7月の完成以来42年経過していますが、平成21年度の庁舎外壁改修など行いながら、現在まで施設の維持管理を行ってきました。

町有施設の耐震診断は、平成23年度に地域会館5か所（南部地域会館、幸町会館、対雁会館、百年会館、上当別会館）を実施済みです。また、平成24年度には、町有施設7か所（旧北季節保育所、旧川下・高岡・東裏小学校の教員住宅、旧老人憩いの家）について順次行っていますが、役場庁舎は、災害時の対策拠点となるため、平成25年度に専門の耐震診断を行う予定です。

これまでも町有施設の耐震診断を行ってきましたが、そのうち、学校施設はすでに耐震化工事を実施しており、平成22年度に当別小学校校舎、当別中学校校舎・体育館、西当別中学校校舎・体育館が完了し、平成23年度には、当別小学校体育館の建て替えを行っています。引き続き、「当別町耐震改修促進計画」に基づきながら、緊急性の視点に立ち、各所管とも連携を図りながら施設の耐震化の促進に努めます。

まちの魅力とブランドの創出については、平成24年度に引き続き、軽トラマーケットや新たなブランド創出の模索のほか、まちの魅力ある情報をわかりやすく発信させるため、今年度は、町ホームページのデザインを刷新することで、美しいまち“とうべつ”をもっと表現し、必要とする情報を素早く探せるようにするなど、新たなものとします。

地域ブランドの創出の観点から当別新産業活性化センターの構成員として、「とうべつ Brandeli 認証制度」の取り組みを進めてきましたが、センターの方向性も確立されたことから、今後、更なるセンターの発展に向けて、より一層、町内の農業者・商工業者の方々が主体性を持ち、積極的に進められる体制が必要との考えのもと、関係団体と協議を行った結果、平成24年度をもって町は同センターから退会し、同センターと新たな支援・協力体制を構築してまいります。

さらに町の広告塔、いわゆるランドマーク的施設であるインフォメーションセンターの整備に向けた取り組みを進めます。

（予算編成の概要より）

「心にふるさと当別を刻む」 教育を目指す

山内教育長から教育予算の概要が説明されました。

「心にふるさとを刻む教育」を基本姿勢として、教育に関わる諸課題と教育改革の方向性を明確にしつつ、家庭、学校、地域社会の連携や融合を深めながら、課題の解決に向けた取り組みを次のように進めます。

学校教育では、確かな学力向上を図るために、大学生や地域人材を活用した学習支援や教職員の指導力向上を図る研究事業、学校教育指導員の活用等に努めます。また、小学校5・6年生の英語活動の指導、姉妹都市レクサンド市についての学習等、国際理解教育に取り組めます。

次に、豊かな心の育成と、健康・体力の向上を図るために道徳の時間の充実や、いじめ、不登校、問題行動の防止等に努めます。また、新体力テストの活用やフッ化物洗口の取組の拡大、子宮頸がんの学習等を推進します。

家庭、地域に信頼される開かれた学校づくりや、地域の人材、自然、歴史等の教材などを活かした特色ある教育活動を進めます。

さらに安心・安全な教育環境・施設を実現するため、

学校校舎等の改修事業や、避難場所・経路の環境の整備、防災教育の充実に努めます。



社会教育では、「当別町家庭教育の手引き」の活用や、「学校支援地域本部事業」等を充実し、家庭や地域の教育力向上を図ります。「通学合宿事業」のほか、地元の小・中・高・大学が連携して行う「小中高生TOWNミーティング」等を充実し、青少年の健全育成を図ります。また、高齢者学園「ことぶき大学」や北海道医療大学と連携して行う「当別学講座」等を通して成人教育の充実に努めます。

文化・芸術活動については、郷土芸能としての「当別音頭」への支援など、伝統文化の充実等に努めます。また、子どもの読書活動推進計画等に基づき、読書活動の充実と図書室の利用促進を図ります。

この他、マナーキッズプロジェクトの支援や、「ニュースポーツチャレンジ」、「フィットネスカレッジ」等、スポーツ活動の振興を図ります。

予算概要

一般会計予算 (前年比 1.2%減)
75 億 2,747 万円

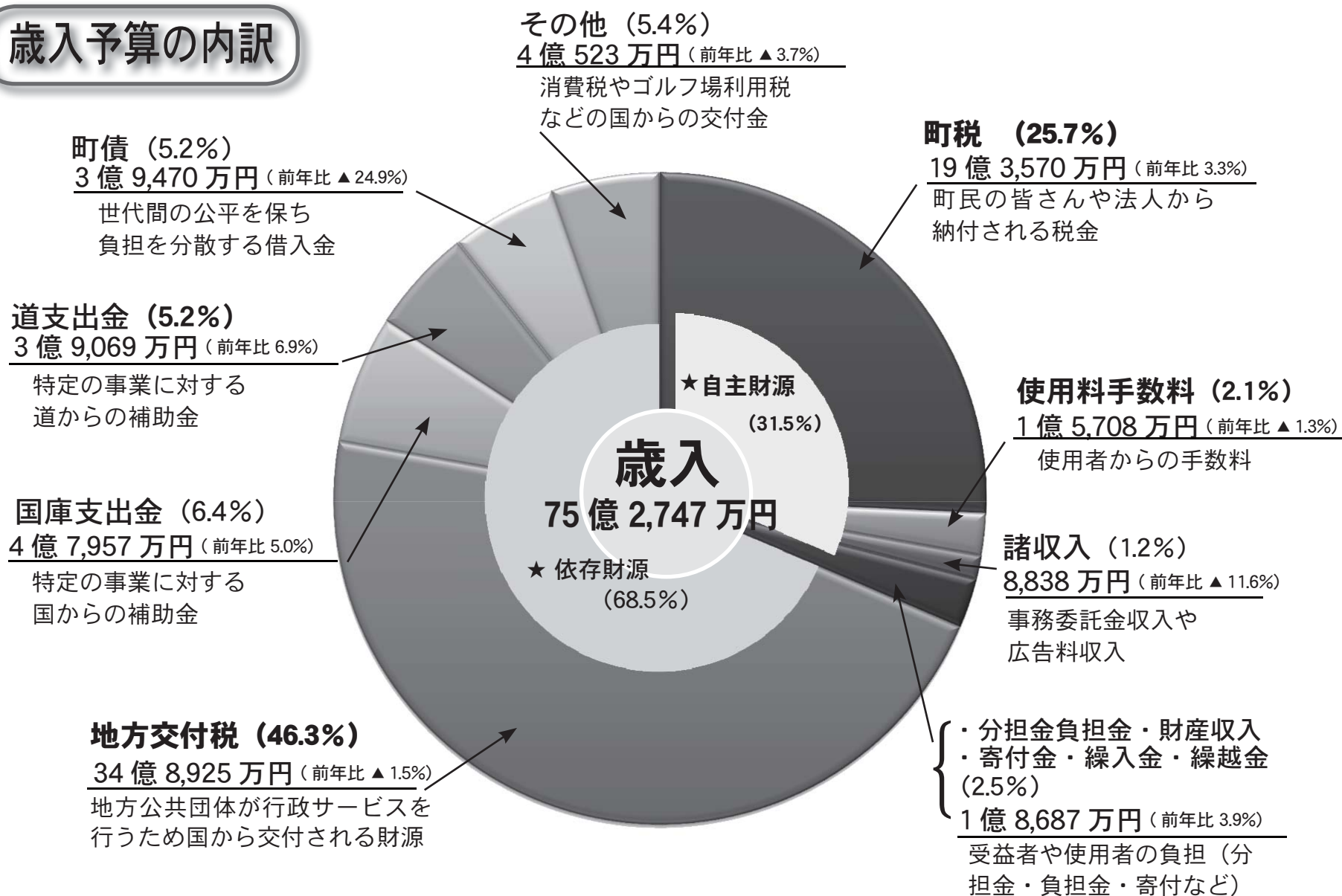
予算編成の考え方

町の将来負担を積み増すことなく行政サービスを継続し、まちの魅力を積極的に発信することを目標に

- ① 少子化対策
 - ② インフラ整備と防災・災害への備え
 - ③ まちの魅力発信とブランドの創出
- の 3 点を中心に予算を編成しました。

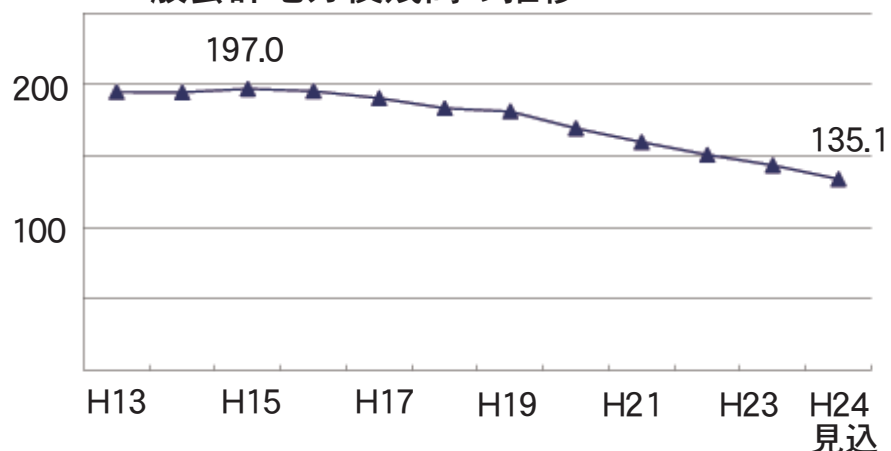
歳入 において、町税は法人町民税の増額やたばこ税の税源移譲による増額を見込んでいます。また、歳入の半分に近い地方交付税及び国庫支出金、道支出金はほぼ前年並み。町債による借入れは財政運営計画に基づき抑制しています。

歳入予算の内訳



一般会計地方債残高の推移

単位：億円



財政運営計画の中で、地方債残高は 130 億円以下を目標としています。

★用語解説

【自主財源】 町が自主的に収入できる財源のことで、町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄付金、繰入金、諸収入などがあります。町独自で収入額を決められるので「自主財源」と呼びます。

【依存財源】 国や道の基準に基づき交付されたり、割り当てられたりする町の収入。地方交付税、地方譲与税、国庫支出金、道支出金、町債など。独自で収入額を決められないので「依存財源」と呼びます。

歳出のうち予算額が大きなものは公債費、民生費、職員費、土木費、教育費、消防費の順となっています。

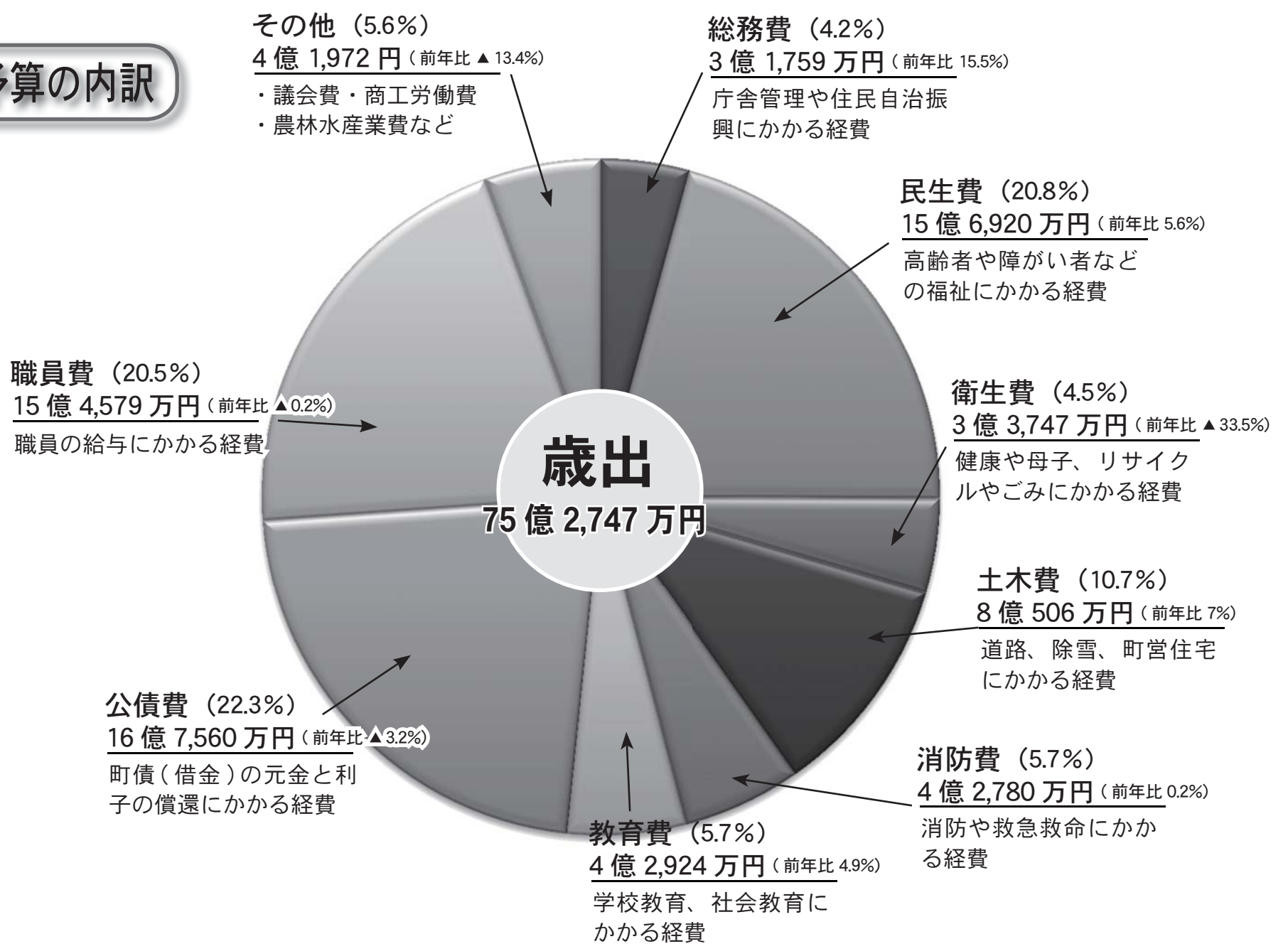
衛生費は昨年、当別ダムの完成に伴い水道事業出資金がなくなることで減額となりました。

増額となった費目については、総務費では町内会館施設の改修、

及びJR石狩太美駅屋根、外壁の塗装による増額のほか、少子化対策に取り組む事業委託が新規事業となりました。土木費では除雪の効率を上げるための除雪機材の新規購入などによる増額となっています。教育費では給食センター改修事業による増額となりました。



歳出予算の内訳



会計区分	H25年度予算額	対前年増減	
一般会計	75億 2,747万円	▲9,429万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	24億 306万円	2,046万円
	介護保険特別会計	11億 6,839万円	3,832万円
	介護サービス事業特別会計	7,134万円	▲19万円
	後期高齢者医療特別会計	1億 8,574万円	772万円
	下水道事業特別会計	9億 9,462万円	4,904万円
	農業集落排水事業特別会計	0万円	▲7,861万円
小計	123億 5,062万円	▲5,755万円	
水道事業会計	10億 4,474万円	7,666万円	
合計	133億 9,536万円	1,911万円	

■一般会計と特別会計の予算

5つの特別会計の合計は48億2,315万円の前年度より3,674万円の増となっています。介護保険特別会計では介護サービスの利用者増による増額となり、農業集落排水事業特別会計は、下水道事業特別会計に一本化されたため、100%の減となりました。一般会計と特別会計、水道事業会計を合わせた全体予算では前年度と同規模となりました。



特集

輪・和・話
知恵の 人の マチの

当別町の少子化対策は？

当別町で生まれる赤ちゃんが激減し、近年では年間 50 人台という数まで減少しています。このような状況が続くと小中学校の統合をはじめ、町内の経済活動の停滞など、これまで経験しなかった問題が現実となってくるのです。この危機的な状況を回避する方策とは。

少子化の現象は全国的な課題となっています。その要因として結婚観や価値観など個人の意識変化やライフスタイルの多様化により、結婚しない人の割合が増えたり、晩婚化が進み出産を控える傾向も、少子化の要因となっています。

当別町においても、これら未婚化・晩婚化の影響を受けています。若い人たちが大学進学や就職、結婚等を機に町外へ転出、地価の下落による都市部への人口

回帰など、複雑な要因が重なり合い、20 代後半から 30 代 40 代のいわゆる子育て世代の人口が著しく少なくなっています。

このような状況の中、当別町にある豊かな自然環境や地域のコミュニケーションなど、都会では味わうことができない地域特性を活かした少子化対策を実施するため、『当別町少子化対策戦略プラン』を策定し、全町一丸となってこの課題に取り組みます。

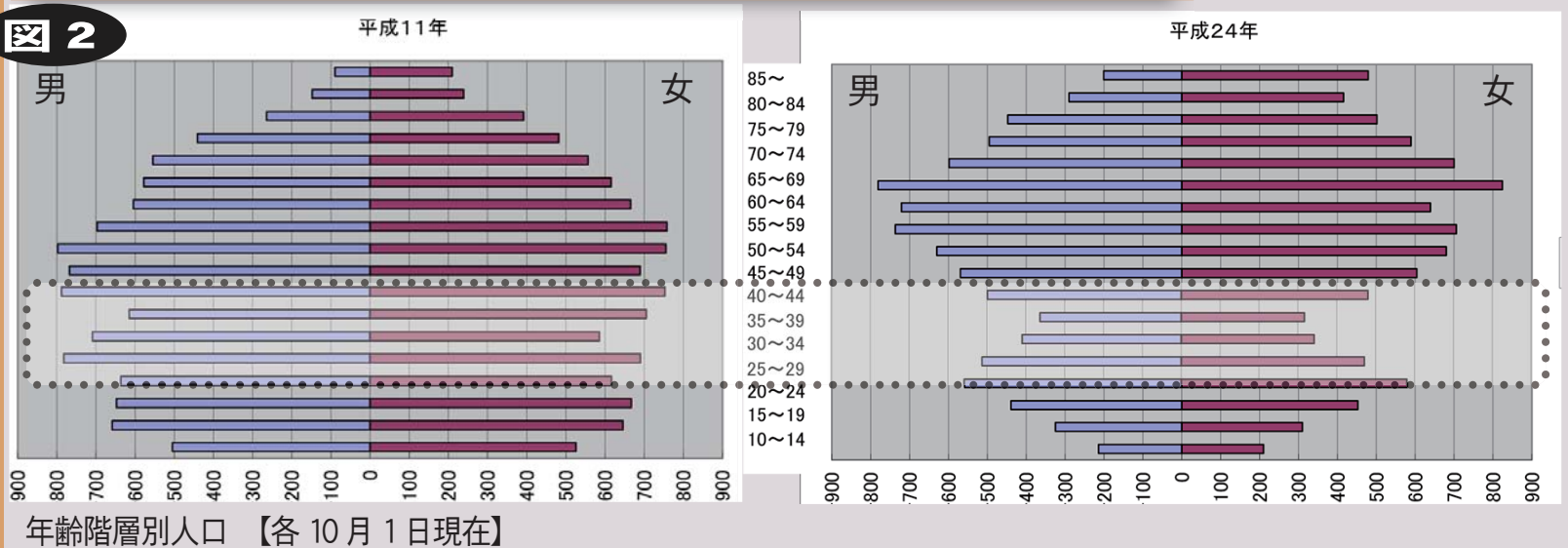
図 1



当別町の人口は、平成 11 年に 20,875 人のピークに達しましたが、その後、長引く経済不況等の情勢変化などで減少に転じ、この 10 年間で 2,000 人以上の減少となっています。(図 1)

特に子育てを担う 25 歳～44 歳人口を見ると(図 2)、平成 11 年の 5,615 人から

図 2



平成 24 年は 3,582 人へとその減少傾向が顕著となり、この世代の減少に伴って、子どもの数も減っていることがわかります。

町の将来を
みんなで考える

当別町少子化対策戦略プランを策定

2013.3



戦略プランその考え方と概要

少子化を防ぐために

戦略プランでは、少子化・人口減少に対する効果的な対策について、次の考え方を基本としてまとめます。

- ① 都会にはないやさしさ、つながりのあることなど、本町の持つ優位な資産を活用する。
- ② 子育て関連の施設等を計画的に整備するなど、子育て世代に目を向けさせる施策を実施する。
- ③ 早急に実施が望ましい施策と将来的課題の視点にたった整理を行う。

戦略プランのめざす姿

子育て世代への支援策の充実のみだけでなく、近所や地域とのコミュニケーションがスムーズにとれ「地域とのつながり」「支えあい」「絆」を実感でき、安心していきいきと暮らせるまち。

つまり

子どもの笑顔を未来につなぐまち 当別

プランが考える
3つの戦略

戦略1 子どもにやさしいまちづくり

(1) 施設等の環境整備

- ① すべての子どもが安心して暮らせるための子ども発達支援センターの整備
- ② 子どもたちが楽しく遊べる公園整備
- ③ 子どもを安心して預けることができる場、西当別子どもプレイハウスを移設



(2) 子育て応援プラン

- ① 乳幼児を持つ家庭への町指定ごみ袋の無償交付
- ② 予防接種（インフルエンザ）助成
- ③ 歯科医療の高度な専門機関と連携したむし歯ゼロ作戦
- ④ 子どもの医療費負担をサポートする医療費助成



(3) お誕生日の絆プラン

- 子どもの誕生を町全体で祝福する
- (4) 地域が子どもを育む
 - ① 町民が一体となって子どもを支える連携体制を構築
 - ② 子どもを地域で育てる環境とその居場所づくり



(5) 特色ある学び・教育

- ① 英会話指導助手の配置で小学校低学年から国際理解教育
- ② もっと英語を身近にする英語クラブの創設
- ③ 地域力をもっと学校に！地域との一層の連携



戦略2 住みやすい住環境づくり

(6) 子育て世代定住促進策

- ① 親との暮らしで安心の子育て環境をつくる二世帯居住・近居住支援整備
- ② 子育て世代に住宅取得の機会を増やす空き家バンク・住み替え制度

戦略3 まちの魅力の発信

(7) わかりやすい情報発信

- 情報発信ツールの積極的活用により「子育てにやさしいまち」をアピール
- (8) 資源を活かした魅力づくり
 - まちの魅力の創出により交流人口を増やす

戦略プラン が提案する 将来に向けたまちづくり

少子化対策は、個別の対処療法では根本的な解決にならないと言えます。真の「安心して子育てができるまち」を目指し、良好で永続的な地域コミュニティを創るには長い年月も必要です。

外から人を呼び込む前に、在住する町民自身が魅力と誇りを持てる「夢を持って暮らせるまち」の実現を目指さなければなりません。

将来に向けたまちづくりとして次の4つの視点を重要と考えています。

○ふるさと意識づくり

人間関係づくりのため、地域住民の地域活動への積極的参加

○特色ある教育の推進

一貫した教育体制の確立や、地域と一体となった教育熱心なまちづくり。

○北海道医療大学との連携

「大学」や、その学生とのつながりを深くする産学官連携。

○就労の場づくり

大都市に近い利便性を強調した企業誘致の促進。

安心して子育てができるまちへ

インタビュー

こういう活動があったらいいな！を形にすることで、多くの人に関わることで、子育て・教育は変わる。



住んでみたい当別推進協議会
幹事長 辻野 浩さん

当別は子育てのための人材や環境が実は恵まれている。その隠された潜在能力を活かすには、地域のマンパワーを一元的に活用する制度を確立することが望まれます。

私は「当別まちの学校」というものを考えています。出来るだけ多くの地域の人や子ども達の放課後の活動に

携われるよう支援ができるという構想です。地域の子育てや学習は学校や行政だけに任せていても限界があります。その反面、この町の規模だから個人レベルでも協力してできることも事実です。教育に熱心な親であれば、いろいろな形でサポートに回れる人も多いはず。こういうマンパワーを活かしてこそ地域の教育力が高まる循環が生まれるのではと期待しています。

平成24年度はこの考え方の実証を試みようとキッズアカデミーを実施しました。スウェーデンヒルズや太美地区の小学生を対象に、職業の疑似体験、天体観測や外国語に親しむ時間など、幅広い分野の講師

を招いた課外授業を企画して、子どもたちに様々な体験の場を提供しました。

住んでみたい当別推進協議会はこれまで移住促進という立場からまちづくりのお手伝いをしてきましたが、少子化対策も含めたこのような取り組みの必要性が急務と考え、昨年からは実施しています。

子育て世代の満足度を刺激することが出来れば、それはまちの大きな魅力となり、「子育てのために集まるまち」にも発展するのではないのでしょうか。

まちの未来推進室担当者から

子育て世代、出生数の減少は行政的な施策だけでなく町民のすべてが意識し取り組む事が大切です。

あいさつであったり、地域の交流であったり、みなさん当たり前にしていることが、当別の良さ、やさしさのあるまちにつながり、住んでいたい場所になると少子化対策戦略プランは指摘しています。

現役世代が未来に不安を残さないためにも今、その取り組みは必要です。

▼担当 企画部まちの未来推進室 (☎ 23 - 3073)

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/mirai/>

人材育成基金活用推進事業を募集します

町では、活力と魅力に満ちたまちづくりを推進する人材を育成するため、次の事業に対して補助金を交付しています。

▼補助対象事業

- ①教育、文化、産業等における調査研修事業
- ②人的交流・文化的交流・経済的交流等事業
- ③講演会等開催事業
- ④その他事業

※「高校生の短期留学ホームステイ語学研修事業」については、別途募集します。



演奏会などでも活用されています

▼補助対象者 当別町に1年以上在住または勤務している者、これらの者で構成する団体

▼補助率・補助限度額

- ①・②補助率：補助対象経費の2/3以内
限度額：個人（国内10万円、国外50万円）
団体（50万円）
- ③・④補助率：補助対象経費の1/2以内
限度額：50万円

▼補助対象事業

5月10日（金）～平成26年3月28日（金）までに実施する事業。

▼申請期限 4月10日（水）17時必着

▼申請方法 当別町人材育成基金の活用推進事業補助金交付申請書、補助金交付要望事業の概要調書を記入の上、提出してください。申請書等は、町ホームページからもダウンロードできます。

▼審査 申請書類をもとに、4月下旬に決定予定です。

▼問合せ 美しいまちづくり課美しいまちづくり係
(☎ 23 - 3042・E-mail:shinko@town.tobetsu.hokkaido.jp)

障害者総合支援法が施行されます

難病の方への福祉サービスを拡充

平成25年4月1日から障害者自立支援法が改正され、新たに「障害者総合支援法」が施行されます。これに伴い、各種サービス等が拡充されます。

なお、障害者自立支援法のサービスをすでに利用されている方（身体・知的・精神障がいのある方）は、新たな手続きは不要です。

▼拡充対象者 難病の方（パーキンソン病、ベーチェット病など国が指定する130疾患）

▼受けられる福祉サービス等

・障害福祉サービス

（居宅介護、短期入所、就労継続支援など）

・補装具

（車いす、歩行器などの購入と修理に必要な費用の支給）

・日常生活用具

（電気式たん吸引器、パルスオキシメーターなどの給付）

※世帯の収入に応じて費用負担があります。

※サービスの利用には申請が必要です。ご相談の上、手続きを行ってください。

※難病で、かつ介護保険制度の対象となる方は、介護保険制度のサービスが優先されます。

「育成医療」の手続きが道から町へ

障害者総合支援法の施行に伴い、「育成医療」の実施権限が北海道から市町村に移ります。したがって、申請窓口が江別保健所から当別町に変わり、4月1日からは町福祉課障がいサービス係となります。

「育成医療」とは？

障がいのある児童又は医療行為を行わないと将来的に障がいを残すと認められる児童に対して、症状を軽くしたり取り除いたりするための医療費の一部を公費負担する制度です。

※18歳未満の方が対象となります。

対象医療・疾患は？

視覚障害（白内障・先天性緑内障）
肢体不自由（人工関節置換術）
心臓機能障害（ペースメーカー埋込み手術）
腎臓機能障害（人工透析療法）
肝臓機能障害（肝臓移植術（抗免疫療法を含む））
など

※障害・手術・治療内容は一例です。

▼問合せ 福祉課障がいサービス係
(ゆとろ内・☎ 25 - 2665)

平成24年度 当別町教育委員会表彰

教育功勞表彰

長年にわたり、当別町の教育行政の充実発展に貢献され、多大な功績をあげた個人または団体を表彰するものです。

【個人】

大澤 勉	<p>平成20年5月から平成24年5月まで北海道町村教育委員会連合会会長、全国市町村教育委員会連合会副会長、昭和63年10月から平成24年9月まで町教育委員、その内平成11年10月から平成24年9月までは町教育委員長としてこれまでに全国、当別町の教育行政に貢献されました。</p> <p>また、学校教育関係や社会教育関係等多岐にわたる分野においての功績は顕著であります。</p>
------	---



教育功績表彰 ～スポーツ功績賞～

スポーツの分野において、競技大会等で優秀な成績を収め、スポーツの振興に多大な貢献をされた個人または団体及び長年にわたりスポーツ活動の発展に尽力し、貢献された個人または団体を表彰するものです。

【長年の功績による表彰】

下村清一 (当別相撲国技会)	<p>少年期から太美角道会で相撲を始め、昭和25年9月20日に「千代桜」の四股名出世披露の後、昭和26年当別町青年大会において優勝、その後も各種大会において優秀な成績を収められました。</p> <p>現役引退後、当別相撲国技会の幹事、副会長、顧問を務めるなど、長年にわたり役員を歴任し、本町の相撲発展に多大な支援と貢献をされました。</p>
-------------------	--



【個人】

大会名	成績	氏名	所属
第37回全日本バトントワリング選手権大会	全国大会出場	熊谷紗耶加	西当別小6年
第6回全国中学生少林寺拳法大会	出場	阿部優磨	西当別中2年
第25回全国少年フェンシング大会	出場	眞田涼太	西当別中2年
第42回全国中学校剣道大会	出場	菅原郁実	当別中3年
第59回全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会	出場	高田悠斗	当別高校3年
第67回国民体育大会(馬術競技)	出場	宮永美寿津	一般

教育功績表彰 ～芸術文化功績賞～

芸術文化活動の分野において、コンクール等で優秀な成績を収め、芸術文化の振興に多大な貢献をされた個人または団体及び長年にわたり芸術文化活動の発展に尽力し、貢献された個人または団体を表彰するものです。



【個人】

大会名	成績	氏名	所属	
第43回 全道書道 コンクール	特別賞	眞壁沙月	当別小3年	
		杉浦朱音	当別小6年	
		佐藤壱冴	当別小6年	
		小林紗弥香	西当別小6年	
第44回 全国学生 書道展	特別賞	特別賞四席	山田悠貴	当別小1年
		茶畑蓮	当別小1年	
		伊藤嘉成	当別小2年	
		高橋利則	当別小3年	
		高橋麗	当別小3年	
		坪川瑠花	当別小3年	
		早川ほの香	当別小4年	
		青山すず	当別小5年	
		板東海来	当別小6年	
		山本祐輔	当別小6年	
		小石川愛果	当別小6年	
西沢怜奈	西当別小4年			
標語「いじめ根絶！メッセージコンクール」	奨励賞	小林春菜	当別小6年	
標語「北海道学び推進月間」	奨励賞	武田龍一郎	当別小6年	
税に関する絵はがきコンクール	会長賞	溝口野衣	当別小6年	
第34回全日本中学生水の作文	入選	上本萌貴	当別中1年	
第41回 北海道選抜 珠算競技大会	銅賞	羽成幸祐	西当別小4年	
	入賞	工藤真夕	当別小6年	
短歌「第23回全道シルバー作品展」	北海道社会福祉協議会会長賞	山田幸子	一般	

【団体】

大会等および成績	団体名
第43回 全道書道コンクール	・団体優勝 ・北海道教育委員会 教育長賞
第44回全国学生書道展	団体優勝
	当別小学校

【長年の功績による表彰】

<p>福田勝 (当別町文化協会 前理事長)</p>	<p>太美吟謡会(民謡)に平成11年4月から就任し、当別町文化祭をはじめ、町老人ホーム等への慰問、愛里苑盆祭りへの参加協力など、民謡の普及・指導や、近隣市町村の民謡会との交流を通じて日本伝統文化の伝承に貢献されました。</p> <p>また、町文化協会理事長を務め、芸術文化活動を通じた地域文化の発展に寄与されました。</p>
-----------------------------------	--

青少年善行表彰

他の模範となる善行を行った児童生徒や、融和と団結力に富み、活発な活動をし、その善行や成績が顕著な児童生徒による団体を表彰するものです。

【団体】

<p>緑町子ども会</p>	<p>地域のゴミ拾いやふくろう街道の花壇整備などの美化運動を大人と子供が一体となってい、美しい町づくりに貢献されています。</p> <p>夏祭りに、子どもと地域のコミュニケーションを図ることを目的とした「ローソクもらい」を実施。また、当別町子ども会育成連合会主催ドッジボール大会にて上位入賞するなど、スポーツで地域を盛り上げる活動も活発に行っています。</p>
---------------	--





鷹匠という伝統

工藤 正次さん

Kudou shouji

愛鷹ブリーズと

鷹狩りは世界各地にある文化

鷹を飼い慣らして狩りを行うことを鷹狩りといいます。中央アジアを起源に世界中に鷹狩りの文化があり、海外ではユネスコの無形文化遺産にもなっています。道内でも3名といわれる愛好者の一人がビトエに住む工藤正次さんです。

鷹を使った狩りは、日本でも古くから貴族、大名の遊びとして伝えられてきました。鷹は猛禽類ですが、爬虫類と似ていて狩りをするのはお腹が空いている時だけ。狩りの前には糞や筋肉の状態を観察しながら餌の量を調整し、最適な状態に仕上げて殿様に献上するのが鷹匠たかじょうの仕事でした。現在ではこの伝統を守る鷹匠協会やいくつかの流派もありますが、鷹を飼育し、狩りとしての技術を磨く人は大変少ないですね。

6年前にテレビで鷹匠のことを知り、知り合いに円山動物園の飼育員の方がいたことから、鷹の生態や狩りについて様々なことを教えてもらいました。今飼っている鷹はレッドテールホーク(和名アカオノスリ)といっとうさぎやリスの狩猟に適している種類です。普段の餌はひよこ、うずら、マウスなどで、小さなひよこでは1日3、4羽も食べますが、狩りの前には絶食して闘争心を高めていくんです。お腹が一杯だと飛び立ったまま戻ってきません。猟期は10月～1月までの4カ月で、主にカモを狙っています。カモも賢いもので、この時期は銃による狩猟ができない人里に寄ってきます。しかし、鷹狩りには好条件です。鷹がカモを仕留めるとすかさず別の餌を与え、獲物は見えないところへ隠します。

当別へ移り住んだのは10年程前です。札幌市

の出身ですが、これまで乗馬クラブのインストラクターをしており、馬を扱う仕事を求めて十勝や富良野、道北と歩いてきました。当別は札幌からとても近いのに、「道民の森」をはじめ、豊富な自然があることが魅力で、初めは春日町に一軒家を求め、住みましたが、もっと自由に動物と暮らしたいと4年前に現在のビトエに移り住みました。農家の納屋も自分で手直しして、作業場や鳥の飼育場にしています。鷹は厳しい環境にも強い生き物。飼育するためには今の環境は理想的です。そしていつか自分の馬を持ち、その馬で鷹狩りをするのが夢です。今、国内ではこれをできる人はいないのです。

手先が器用ですべて自分で作ってしまうという工藤さん。革の手袋、餌の籠、訓練用の疑似餌などすべて自作といいます。趣味を活かし動物達との一体感を感じる生活。これも当別ならではの感じた取材でした。(3月16日取材)

文化活動・交流の拠点

ふれあい倉庫「赤れんが6号」

【カルチャーホール】

アンサンブル屋 第4回演奏会
～音楽専攻生による癒しのひと時～

▼日時 4月28日(日)

14時45分開場、15時開演

▼内容 ピアノや管楽器のアンサンブルによるコンサートです。ジャズやクラシックなどのいろいろなジャンルの曲を演奏するほか、学生が作曲した曲も演奏します。みなさんぜひお越しください。

▼入場料 無料

▼問合せ 吉田 (☎090-5804-3716)

【多目的ホール】

中川久雄絵画塾塾生 春の作品展

▼日時 4月16日(火)～21日(日) 10時～18時

▼内容 絵画塾生、恒例の作品展です。油彩、水彩画、絵手紙など幅広いジャンルから力作約60点を展示します。レベルアップした作品にご期待ください。

▼問合せ 中川 (☎090-1524-9558)

お知らせ

■4月から営業時間が変更になります

直売コーナー：9時30分～18時

■施設の利用方法 施設利用の申込みと使用料の支払いは、ふれあい倉庫の事務カウンターでお願いします。

当別観光情報プラザ【FIKA】フィーカ

〔4月のギャラリー〕

いやしのボンボン

▼展示者 てすさび

▼内容 手作り毛糸編みのキャラクター展示です。

▼期間 4月2日(火)～30日(火)

▼問合せ 山田 (☎23-2809)

〔町民ポータルサイト〕

<http://portal.town.tobetsu.hokkaido.jp/>

お知らせ

FIKAは、4月から毎週月曜日を定休日とさせていただきます。なお、月曜日が祝日の場合は、翌日の火曜日が定休日となります。

▼問合せ ふれあい倉庫 (☎27-6600)

FIKA (☎27-5388) 商工課 (☎23-3129)

続

町長の日記

平成25年3月19日(火)

今日は当別町の平成25年の予算案が成立した。

今月の5日から開かれた定例議会で4月1日から1年間の町民生活に係わる予算が満場一致で可決されました。

議場の一段と高い席から高谷議長が「本案は原案通り可決しました！！」と宣言した時、私は何十回も聞き馴れたセリフだったけど今回は格別心地良い響きに聞こえた。

私は初めて町議になってから28年間は、この議場は自分の主張と質問をする舞台だったが、この12年間は専ら受身で答弁に終始していたが最後に議案が認められた時は町長でないと味わえないものを感じさせていただいていた。

私が町長に就任以来、国政の影響もあり当別町の予算案は年々歳々減額せざるを得なかったが、平成25年度の一般会計はついに前町長さんの最後の予算の約半分の75億内まで下がってしまったが、私はこの12年間で第4次総合計画の後半と第5次の前半の計画を推進しながら、自ら立てた財政運営計画に基づき町の膨大な借金を返済しなければならなかった。

これには議会の理解とこの町で暮らす人々の協力が何より必要だった。

お陰様で私が町長に就任した平成13年8月2日から今日迄4,250日間に一日平均150万円余り返済した勘定になるまでに借金は減った。

今、私は“この町の人々はなんて素敵な方々なんだろう”と心から敬愛している。

この協力に応える為に町職員達は「まちの魅力を発進する」為に最も斬新なタイプの「道の駅」的な複合施設の建設事業の調査に動き出している。

気が付いたら私は道内の179名の市町村長の中で最高齢の域に達して私より年長の方はほとんどいないらしい。

4年前に私は自分の時作った第5次計画を少しでも進めたくて「あと4年間だけこの旗を私に背負わせて下さい！！」と車上から絶叫して当別町旗を振ったのでした。

約束通り8月1日迄は一日も欠かさず旗を振り続けたい。

シェイクスピアはAll's well that ends well (おしまい良ければ全て良し)と言っているから。

当別町長泉亭俊彦

募集

嘱託管理栄養士を募集します

▼募集資格

管理栄養士資格を有する方。

▼勤務期間 6月1日～平成26年3月31日

▼勤務先 ゆとろ他

▼募集人数 1名

▼勤務内容 栄養指導業務

▼勤務時間

1週29時間(週4日程度)

▼報酬 172,200円(月額)

▼応募書類 履歴書・本人の住民票・管理栄養士免許証の写し

▼申込期限 4月26日(金)

▼申込み 福祉課保健サービス係
(ゆとろ内・☎23-2346)

募集

60歳以上の方を募集します
町高齢者学園ことぶき大学

趣味の講座や健康・生きがいづくりの講演会、見聞を広げる視察研修など楽しく学べる内容が盛りだくさんです。

▼日時 5月～平成26年3月の第2、第4金曜日 10時～12時

▼場所

白樺コミュニティセンター
※日時と場所は、内容によって変更することがあります。

▼定員 40名

▼入学金

5,000円(保険料、講師料、消耗品、郵便料、バス借り上げ料等)

▼申込期限 4月24日(水)

▼申込方法 氏名、住所、連絡先電話番号をお知らせください。

▼申込先

町教委社会教育課社会教育係
(学習交流センター内・☎/FAX23-0573/E-mail:kyoshakai1@town.tobetsu.hokkaido.jp)

募集

東裏体験農村公園(貸農園)利用者募集します

自分で育てたい野菜を自由に栽培することができるほか、東裏地域の地元農業者の協力により、収穫祭などのイベントを予定しています。

▼貸出区画・料金

1区画60㎡ 6,000円

▼貸出期間 5月11日(土)～10月31日(木)

▼申込期間

4月1日(月)～15日(月)

▼申込方法 メールかFAXで申込用紙を提出してください。申込用紙は町ホームページに掲載されています。

▼その他 畑は、起こした状態で貸し出します。作付けの種子や苗、農具などはご持参ください。農村公園には、駐車場、簡易トイレ、水飲み場が設置されています。

▼申込み 農林課耕地林政係
(☎23-3096/FAX23-3206)

ごみ

「スプレー缶ごみ」無料回収

町では「スプレー缶類」を試験的に無料回収しておりましたが、4月から正式に実施します。

事故防止のため新しい回収方法にご協力ください。

▼対象品目 スプレー缶、カセットボンベ、使い捨てライター

▼回収方法

燃えないごみの日(月1回。ごみカレンダー参照)に通常の燃えないごみとは別に回収します。上記の品目のみを透明又は半透明の袋に入れて排出してください。

▼問合せ 環境生活課環境対策係
(☎23-2503)

募集

学校支援ボランティアを募集します

当別町学校支援地域本部では、地域の方々の協力を得て、学校での子どもたちの学習支援や教育活動をより充実するための学校支援ボランティアを募集しています。

▼支援内容 授業や放課後、夏・冬休み等の学習補助、登下校の安全指導、学校の環境整備、図書館活動補助、学校行事への協力支援、部活・クラブ活動指導補助、その他学校の要望に応じた活動。

▼申込方法 総合体育館、白樺・西当別コミュニティーセンター等に備え置きしている登録用紙に必要事項を記入の上、提出願います。

▼申込先

町教委社会教育課社会教育係
(総合体育館内・☎22-3834)

講座

「町民自主企画講座」を活用してください

町教委では町民の自発的な学習活動を支援するため、町民が自主的に企画、運営し開催する学習活動(講座や講演会等)を支援します。年間を通して受け付けますので、随時ご相談ください。

なお、内容が同じ講座等の支援は、3年間限りです。

▼支援内容

- ・白樺コミュニティセンター、総合体育館、西当別コミュニティーセンターなど社会教育施設使用料減免
- ・講師謝礼金(限度額1万円)
- ・周知活動など

▼問合せ・申込先

町教委社会教育課社会教育係
(総合体育館内・☎22-3834)

納 税

困ったときの納税Q&A

Q 軽自動車の車検を受けたのですが納税証明書を紛失してしまいました。再発行はできますか？

A 印鑑と車検証と身分を確認できるもの（免許証等）をご持参のうえ、役場納税課または太美出張所にて、軽自動車税納税証明書（継続検査用）の交付申請を行ってください。なお、軽自動車税納税証明書（継続検査用）の交付手数料は無料です。

▼問合せ 納税課納税係
(☎ 23 - 2341)

町税に関する夜間納税相談

夜間でなければ納税の相談をすることができない方のために、夜間納税相談窓口を開設しています。

■今月の夜間納税相談窓口
4月11日(木)・25日(木)
(19時30分まで)

狂 犬 病

**お済みですか？
犬の登録と狂犬病予防注射**

生後91日以上犬を飼う場合には、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種が必要です。登録が済んでいない犬の飼い主の方は、役場環境対策係または太美出張所で手続きをお願いします。また、転入された方も飼い犬の登録変更手続きが必要ですので、上記窓口で手続きをお願いします。

狂犬病予防注射は動物病院や町が行う集合注射で年1回必ず接種しましょう。

▼問合せ 環境生活課環境対策係
(☎ 23 - 2503)

無 償 配 布

**乳幼児を持つ家庭へ
町指定ごみ袋の無償配布**

町では少子化対策事業として、子育て家庭を応援するため乳幼児を持つ家庭への『おむつ用ごみ袋無償配布事業』を実施しています。

▼対象

2歳未満の乳幼児のいる家庭

▼配布内容

乳幼児1人当たり1ヵ月につき町指定ごみ袋(20ℓ袋)を10枚

▼配布期間等 5月8日(水)～10日(金)10時～16時

▼配布場所 ゆとろ(本町地区)、太美出張所(太美地区)

※詳細は、対象家庭に4月中旬頃、別途ご案内します。

▼問合せ 子育て推進課子育て支援係(ゆとろ内)☎25 - 2658

消 防

春の火災予防運動を実施します

【全国統一防火標語】

消すまでは 出ない行かない 離れない

当別消防署では、火災が発生しやすい4月20日～30日までの11日間、春の火災予防運動を実施します。

期間中は一人暮らし高齢者宅への防火訪問や大型店舗前での防火広報を実施します。

▼問合せ 当別消防署予防課予防係
(☎ 23 - 2537)

◎ 幹部候補生募集 ◎ 平和を、仕事にする。 陸海空自衛官募集

採用区分	一般・技術	歯科・薬剤
応募資格	・20歳以上26歳未満の者(22歳未満の者は大卒見込含)・大学院修士学位取得者(海上技術幹部候補生志願者は、理工学修士学位取得者に限る)及び自衛官は28歳未満の者	・専門の大卒(見込含)20歳以上30歳未満の者(薬剤は20歳以上28歳未満の者・薬学修士学位取得者は28歳未満)
受付期間	2月1日(金)～4月26日(金) 必着	
試験日	1次試験:5月11日(土)・12日(日)※12日は飛行要員のみ 1次試験合格者:2・3次試験あり※3次試験は飛行要員のみ	
江別地域事務所では、自衛官募集等に関する説明を随時実施しております。 江別市野幌町40-15G&Tビル2F(月～金曜日、9～17時)		
▼詳細	自衛隊札幌地方協力本部江別地域事務所 ☎011-383-8955 役場環境生活課町民生活係 ☎23-3209	

募 集

**あなたの力を活かしませんか？
人材バンク～とうべつ知恵袋～**

町教委では、知識・技能や経験を有する方に“まちの知恵袋”として登録していただき、各種教室・講座の指導者として活動していただける方を募集しています。

年齢や資格等の有無は問いませんので、「これなら自分にも教えられる！」というものがありましたらぜひ登録してください。

▼対象 町内在住または勤務されている方

▼登録分野 文化、スポーツ、趣味・娯楽活動全般

【現在登録されている分野】

とうふ作り、お菓子作り、着物着付け指導、書道、木工クラフト、トールペイント、天体観測、英会話、洋裁、インテリア全般など
※平成24年度は12件の講師派遣の要望があり、登録者の方々にご活躍いただきました。

▼申込方法 総合体育館、白樺・西当別コミュニティーセンターに備え置き申請書を持参・FAX・メールのいずれかで提出してください。申請書は教育委員会ホームページからもダウンロードできます。

▼申込先 町教委社会教育課社会教育係(総合体育館内)☎22-3834/FAX22-3832/E-mail:kyoshakail@town.tobetsu.hokkaido.jp

認知症ビデオ上映会 2 「小規模多機能拠点、大畑の家」

長野県上田市真田町にある「大畑の家」。利用者のほとんどに認知症がある。

自分らしく生きぬくためどんなケアが必要か、どこまで支えられるかを考えます。

▼内容

第1章 「大畑の家」が出来るまで

第2章 ケアの点検

第3章 新しい出会い

▼日時 4月12日（金）

11時～12時30分

▼場所 ゆとろ

▼入場料 無料

▼申込先

介護者と共に歩む会事務局
(社会福祉協議会内・☎ 22 - 2301)

当別消防創設 100 周年記念 とうべつ消防フェスティバル2013

消火器・煙体験等の各種コーナーや、救助訓練の展示を実施します。また、当別中学校吹奏楽部による防火コンサートを披露し、町民の皆さんとふれ合いながら火災予防のPRをします。

▼日時 4月27日（土）

10時～正午

▼場所 当別消防署

▼問合せ 当別消防署予防課予防係 (☎ 23 - 2537)



「石狩川」を読む会

当別町出身の作家・本庄陸男の「石狩川」を読む会です。

▼活動内容 毎週月曜日に町内施設で学習会（10回程度予定）。

▼申込期限 4月10日（水）

▼年間活動費 1,000円

▼問合せ 当別文芸の会・堀江
(☎ 090 - 2054 - 7457)

当別文芸の会メンバー募集

北海道ゆかりの文学作品を読み、北海道の風土、歴史を語り合いませんか。

▼活動内容 読書会、文芸交流、文芸誌「当別文芸」発行・編集等

▼年間活動費 4,000円（指定図書・文庫本、通信費、会場費等含む）

▼問合せ 当別文芸の会・河地
(☎ 090 - 5076 - 2550)

実施します！ インターネット公売

自動車

(三菱デリカ・平成10年式・ディーゼル4WD
・オートマ・車検切れ・最低公売価格 21,000円)



電動カンナ

(マキタ製・最低公売価格 3,600円)



参加申込期間	4月11日（木）13時 ～4月25日（木）23時
入札期間	5月7日（火）13時 ～5月9日（木）23時

今回は、左記2点を含めた合計25点がインターネット公売にかけられます。参加するには事前にYahoo! JAPAN IDを取得する等の手続きが必要です。なお、今回の公売はインターネットのみで行います。

詳細は4月11日（木）13時以降、次のホームページでご確認ください。

■ Yahoo! JAPANの官公庁オークション

<http://koubai.auctions.yahoo.co.jp/>

■ 町納税課

<http://www.town.tobetsu.hokkaido.jp/chomin/zeikin/>

▼問合せ 納税課納税係 (☎ 23 - 2341)

インターネット公売とは？

税金の滞納者から差し押さえた自動車や動産などを、ヤフー株式会社が運営する官公庁オークションシステムを利用して、国税徴収法に基づき売却する手続きのこと。すでに900以上の行政機関がインターネット公売を導入し、滞納となっている税金の徴収に活用しています。

平成 25 年 4 月分 (5 月請求) から 水道料金を改定します

平成 25 年 4 月分 (5 月請求) から水道料金を改定します。ご不明な点、詳細についてはお問い合わせください。

▼問合せ 上下水道課業務係 (☎ 22 - 2411)

【新水道料金】(1 ヶ月あたり、消費税抜 単位：円)

用途及び メーター口径	基本料金	水量料金 (1 m ³ につき)			
		～ 30 m ³	31 m ³ ～ 50 m ³	51 m ³ ～ 100 m ³	101 m ³ ～
家事用	760	187			
業務用	～ 30mm 口径	293			
	40mm 口径	0	293		
	50mm 口径～	0		293	
浴場用	8,500	0			70
臨時用	2,400	420			

※料金早見表については、町ホームページでご覧いただけます。

年金

読んで得する年金・国保のお話

国保

【平成 25 年度の国民年金保険料】

(単位：円)

国民年金保険料	月額
定額保険料	15,040
付加保険料	400



【国民年金保険料の納付は、前納がお得です】

国民年金保険料は、納付書で 1 年分・6 ヶ月分 (4～9 月分) を 4 月 30 日までに納めると割引になります。

(単位：円)

平成 25 年度	期間	月々納付	前納	割引額
定額保険料	1 年	180,480	177,280	3,200
	6 ヶ月	90,240	89,510	730
定額保険料 + 付加保険料	1 年	185,280	181,990	3,290
	6 ヶ月	92,640	91,890	750

■年金出張相談所の開設

- ・日時 4 月 23 日 (火) 10 時～ 15 時
 - ・場所 商工会館 (錦町)・主催 札幌北年金事務所
- ※年金相談は予約制です (相談予約専用ダイヤル ☎ 011 - 717 - 4133)。また、代理人が相談に行く場合は、委任状・身分証明書が必要です。

▼国民年金についての問合せ

住民課戸籍年金係 (☎ 23 - 2463)

国保を支える国民健康保険税

国民健康保険税は、国保が負担する医療費や国保加入者の健康づくりに必要な事業の大切な財源となっています。平成 24 年度分の国保税の納め忘れはございませんか？納税相談も無いまま未納にしていた場合は、保険証の有効期限が短い「短期被保険者証」の交付や保険給付が受けられず、医療費の全額を負担しなければならない「資格証明書」が交付されることとなりますので、納税が困難な方は必ず相談してください。

▼国民健康保険税の納付についての問合せ

納税課納税係 (☎ 23 - 2341)

健康保険がつく会社へ就職。国民健康保険は？

Q 健康保険がつく会社に就職しました。加入していた国民健康保険は自動的に脱退になりますか？

A 自動的に脱退とはなりません。国保を脱退する場合も手続きが必要になります。新たに加入し、交付された健康保険証 (扶養とすご家族分も含む。) と当別町の国民健康保険証 (返却用) を持参のうえ、国保窓口までお越しください。

▼国保・後期高齢者医療についての問合せ

住民課国保・後期高齢者医療係 (☎ 23 - 2467)

美しいまちづくり表彰

美しい景観づくりをめざして、地域住民が行う花壇整備やゴミ拾いなどのボランティア活動、農村景観づくりの中から、継続的で功績が大きい団体・個人を表彰する「美しいまちづくり表彰式」が行われ、3団体・5個人が表彰されました。

▼詳細 美しいまちづくり課美しいまちづくり係
(☎ 23 - 3042)



六軒町町内会



中地 孝さん

団体・個人名	活動の内容
春日爽健会	町道鉄北通等での花苗植栽活動及び除草等の管理活動、町内のゴミ拾いを行いました。
弁華別阿蘇望会	弁華別会館とその周辺の花苗植栽と除草等の管理、清掃を行いました。
六軒町町内会	町道本通線延長 2km の植樹帯のゴミ拾いや清掃活動を行いました。
武井 孝志さん	みどり野団地内の道路沿道のゴミ拾い、雑草除去を行いました。
中地 孝さん	美しいまち寿をつくる会が設置した花壇への植栽。長年にわたる維持管理活動のリーダーとして活躍しました。
畑 治さん	道道当別浜益港線沿線の植樹枡に自主的に花を植栽、維持管理を行いました。
畑 清さん	道道当別浜益港線沿線の植樹枡に自主的に花を植栽、維持管理を行いました。
前澤 良さん	道道当別浜益港線沿線の植樹枡に自主的に花を植栽、維持管理を行いました。

広告

広告

広告

広告

4月 ふれ・スポ・とうべつ

ストックウォークサークル
会員募集（初心者歓迎！）

▼活動日時 第1・第3水曜日
13時30分～（約1時間30分）

▼集合場所 総合体育館（町内
コース）※雨天中止

▼会費 3,000円（ふれ・スポ・
とうべつ入会費、10月分まで
の活動費として）

※スポーツ安全保険加入希望者
は別途保険金必要。

▼その他 希望者にはストック
の貸出、斡旋もします。また、近
隣のストックウォークを楽しむ大
会等への参加も予定しています。

▼申込み 当別総合型地域ス
ポーツクラブ事務局（総合体
育館内・☎22-3833/FAX22
-2832/E-mail:fure-spo-tobetsu@
lagoon.ne.jp）

4月 ぽかぽかキッズ

時間は全て10時～11時30分

▼いちご（水曜日・2、3歳児コース）

ゆとろ 3日・10日・17日・24日

▼ぶどう（木曜日・2、3歳児コース）

ふとみ保育所

4日・11日・18日・25日

▼ミニトマトクラブ（0～1歳5カ月）

ゆとろ 15日

ふとみ保育所 8日・22日

▼サロン（0歳～就学前対象）

・わんぱくサロン

ゆとろ（2日・9日・16日・23日）

西保育所

（4日・11日・18日・25日）

・すみれサロン ふとみ保育所

（5日・12日・19日・26日）

※自由開放日は、キッズ・カレン
ダーで確認してください。

▼問合せ 子育て支援係

（ゆとろ内・☎25-2658）

4月 1日コックさん 出店者・メニュー

★12日（金）三宅利幸さん
餃子定食 380円

★18日（木）COCO式番屋
カツカレー定食 500円

～1日コックさん募集中～

お友達と、ご家族と、ご近所
さんと。カフェでランチ、作っ
てみませんか？もちろん、プロ
アマ問いません！

調理機材・食器等全て用意し
てます。（持ち込み可）



▼詳細

共生型地域オープンサロン
（☎22-0775）

広 告

広 告

広 告

相 談

種 類	内 容	日時 / 場所	申込み
法律相談	町の顧問弁護士が相談に応じます。	4月4日(木)・5月9日(木) 13:30～ ゆとろ	福祉課福祉係 (ゆとろ・☎23-3019)
消費生活相談	契約トラブルや消費生活に関する相談に応じます。	毎週月曜日～金曜日 8:45～15:00 役場	環境生活課町民生活係 (役場1階・☎23-3209)
介護相談	介護や高齢者虐待に関する相談に応じます。	毎週月曜日～金曜日 8:45～17:15 ゆとろ	地域包括支援センター (ゆとろ・☎25-5152)
もの忘れ相談	もの忘れについて相談に応じます。	毎週月曜日～金曜日 8:45～17:15 ゆとろ	地域包括支援センター (ゆとろ・☎25-5152)
心配ごと相談	心配ごとや悩みごとについて相談に応じます。	4月25日(木) 13:00～16:00 ゆとろ	社会福祉協議会 (ゆとろ・☎22-2301)
女性の健康相談	妊娠、出産をはじめとした女性特有の心と体の相談に応じます。	4月9日(火) 13:30～15:30 江別保健所	江別保健所 (☎011-383-2111)
心の健康相談	専門医が心の悩みについて相談に応じます。	4月18日(木) 13:30～16:00 江別保健所	江別保健所 (☎011-383-2111)

つどい

種 類	内 容	日時 / 場所	申込み・詳細
断酒会	お酒で悩んでいる方・ご家族の相談に応じます。	4月1日(月)・15日(月) 18:00～21:00 ゆとろ	昼間・江別保健所 (☎011-383-2111) 夜間・工藤(☎22-2510)

広 告

広 告

広 告

広 告

寄付・寄贈

☆当別町社会福祉協議会へ

▼中野美智子さんより 5万円

▼当別町カラオケ連合会より

3万円

▼飯田ときさんより 1万円

▼赤磨キイさんより

手編みの靴下 10足

▼匿名の方より 雑巾 20枚

☆社協「愛の小箱」へ

▼当別町社会福祉協議会事務局より

5,881円

《ふるさと納税》

▼山本吉雄さんより 1万円

▼上野拡子さんより 1万円

▼樋口やすよさんより 1万円

▼佐藤定次さんより 1万円

▼匿名の方 10名より 10万円

ありがとうございました

まちの図書室

～ おすすめ本紹介 ～



「モンスター」 百田 尚樹 著

町中の男を虜にする絶世の美女・未帆の顔は、かつては醜く周囲からバケモノ呼ばわりされる日々。思い悩んだ末ある事件を起こしてしまう。

▼問合せ 西当別コミュニティーセンター図書室 (☎ 26 - 3300)

「思い出のとき修理します」 谷 瑞恵 著

仕事・恋に疲れ、都会を離れた明里は、子供の頃に過ごした商店街で不思議な時計を見つける。その店を営む青年に惹かれていくが…。

▼問合せ ふくろう図書館 (学習交流センター内・☎ 23 - 0573)

交通安全情報

春の交通安全運動スタート 4/6～15 ～ 運動の重点 ～

子どもと高齢者の交通事故防止、自転車の安全利用推進、シートベルト全席着用とチャイルドシートの正しい着用の徹底、飲酒運転の根絶、スピードの出し過ぎ防止 (平成25年2月末の交通事故累計)

	H 25 年	H 24 年	増減数
発生件数	14	18	- 4
死者数	0	1	- 1
傷者数	22	26	- 4

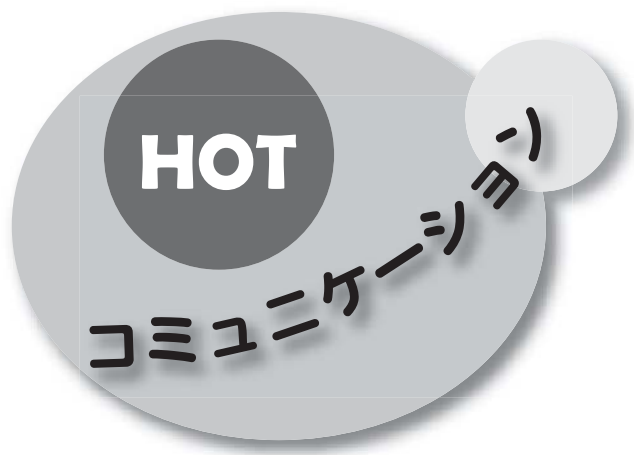
■ 人の動き 3月1日現在 ■ () は前月との比較

人口	17,940 人	(19人減)
世帯	7,666 世帯	(7世帯減)
男	8,708 人	(8人減)
女	9,232 人	(11人減)

広 告

広 告

広 告



かんじきはいて雪原へ



当別町景観セミナーの第2回「かんじきフットパス」に30名が参加しました。

スウェーデンヒルズゴルフ場内の2.5kmを90分程探索しました。かんじきは初めてという人も、すぐに歩き方のコツをつかみ、普段と違う景色に感動したり、リスなどの足跡を発見して楽しみました。
(2月24日)

ほろ酔いの利き酒セミナー



当別のお米で酒造りに取り組む当別酒米生産研究会（大塚利明会長）が「利き酒セミナー」をふとみ銘泉万葉の湯で開催しました。

地酒造りは14回目となり、日本酒の知識をより深めようと、毎年恒例だった新酒発表会から趣向変え、酒匠の鎌田孝氏を迎えて行われました。セミナーでは利き酒の実技も行われ、55名の参加者は色や香りを確認しながらタイプ別の日本酒を試飲していました。

参加者は「堅苦しくなく、楽しみながら利き酒ができました。」と、ほろ酔い顔で話していました。
(3月5日)

当子連が奨励賞



当別町子ども会育成連合会（片岡孝治会長）が石狩管内教育実践奨励賞を受賞しました。

同連合会は昭和47年以来、40年間にわたり、地域の子ども会間の交流を目的に大運動会、ドッジボール大会、新春かるた大会やリーダー育成事業を企画運営してきました。

片岡会長は「当子連の事業は、子ども達から保護者まで、みんなが一つになって楽しめる行事を目指しています。このことで仲間作りや地域の教育力の向上を担っていきたい。」と話しました。
(3月11日)



8台がからむ事故



3月に入り、春ももうそこまでという時期に、8台の車が絡む冬型の事故が起きました。

場所は北海道医療大学付近の国道275号で、猛吹雪の午前8時過ぎダンプカーと軽乗用車が交差点で衝突、それを避けようとした車6台が次々と追突したもので、付近は信号機が倒れ、事故に遭った車両が無残に止められていました。この事故で1人が重傷、3人が軽傷を負いました。

今年は猛烈な地吹雪が何度も襲い、交通障害が多発。冬道の安全運転に大きな課題を残しました。

(3月14日)

レクサンド訪問パネル展



当別町観光情報プラザ「FIKA」で、昨年9月に姉妹都市提携25周年を記念してレクサンド市を訪れた訪問団の報告パネル展が開催されました。

今回は昨年12月のふれあい倉庫に続き2回目の開催となり、現地での企業訪問や記念植樹、パークゴルフや野外でのお茶会の様子など、レクサンド市民と交流した様子が8枚のパネルで紹介されました。

訪れた町民は「レクサンド市民は随分歓迎してくれたんですね。」と見入っていました。

(3月16日)



広告

広告

広告

広告

健康ひろば 4月の予定

今月・来月上旬の予定

日時	行事	場所	詳細・問合せ
4 / 4 (木) 7:55 ~ 8:10	バス送迎検診	ゆとろ	福祉課 (ゆとろ内・☎ 23 - 2346)
11 (木) 13:00 ~ 15:00	歯科健診・フッ素塗布	ゆとろ	福祉課 (ゆとろ内・☎ 23 - 2346)
26 (金) 13:00 ~ 14:00	1歳8ヵ月・3歳児健診	ゆとろ	福祉課 (ゆとろ内・☎ 23 - 2346)
5 / 9 (木) 13:00 ~ 14:00	4・10ヵ月児健診	ゆとろ	福祉課 (ゆとろ内・☎ 23 - 2346)
9 (木) 13:45 ~ 14:00	BCG予防接種	ゆとろ	福祉課 (ゆとろ内・☎ 23 - 2346)
15 (水) 7:55 ~ 8:10	バス送迎検診	西コミ	福祉課 (ゆとろ内・☎ 23 - 2346)

検(健)診 いずれも、事前の申込みが必要です。

種類	内容	詳細・申込み
各種がん検診(集団・個別)	胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診を実施しています	福祉課 (ゆとろ内・☎ 23 - 2346)
肝炎ウイルス検診	B・C型肝炎ウイルス検診	

予防接種 下記医療機関へ事前の予約が必要です。接種時は母子手帳を持参して下さい。

種類	内容	詳細・問合せ
DPT・DT・MR・4種混合・ポリオ ヒブ・小児肺炎球菌・子宮頸がん	DPTはジフテリア・百日せき・破傷風、 DTはジフテリア・破傷風、MRは麻しん・風しん、 4種混合はDPTとポリオ	福祉課 (ゆとろ内・☎ 23 - 2346)

実施医療機関 当別町国保加入者で、40～74歳の方の特定健診については、下記医療機関と江別市立病院、北海道医療大学病院(あいの里)、北海道対がん協会札幌がん検診センターで受診できます。各種がん検診については、お問合せ下さい。

医療機関名(五十音順)	電話番号	検(健)診	予防接種				
		肝炎ウイルス(B・C型)検診	DPT、DT、MR	4種混合・ポリオ	ヒブ	小児肺炎球菌	子宮頸がん
おくやま内科・外科クリニック	27-5522	●					●
勤医協当別診療所	23-3010	●	●	●	●		
近藤医院	23-2021	●	●	●	●	●	●
さわざき医院	25-2055	●	●	●	●	●	●
スウェーデン通り内科循環器科クリニック	25-3151	●	●	●	●	●	●
とうべつ整形外科	25-5040						●
とうべつ内科クリニック	22-1313	●					
北海道医療大学歯科内科クリニック	23-1604	●					●
堀江病院	22-3111	●					●

窓口はこちら ■福祉課：保健サービス係(ゆとろ内・☎ 23 - 2346)

広 告

広 告

救急当番医（内科系）

日	月	火	水	木	金	土
	4/1 スウェーデン	2 堀江	3 堀江	4 堀江	5 近藤	6 とうべつ内科
7 勤医協	8 さわざき	9 堀江	10 スウェーデン	11 堀江	12 堀江	13 堀江
14 近藤	15 とうべつ内科	16 勤医協	17 さわざき	18 堀江	19 スウェーデン	20 堀江
21 堀江	22 堀江	23 近藤	24 とうべつ内科	25 勤医協	26 さわざき	27 堀江
28 スウェーデン	29 堀江	30 堀江	5/1 堀江	2 近藤	3 とうべつ内科	4 勤医協
5 堀江	6 さわざき	7 スウェーデン	8 堀江	9 堀江	10 堀江	11 近藤
12 とうべつ内科	13 勤医協	14 さわざき	15 堀江	16 スウェーデン	17 堀江	18 堀江

- 月～金曜日 19時～21時
- **土曜日** 14時～17時
- **日曜日・祝日** 9時～12時、14時～17時

■ 江別市夜間急病センター（江別市錦町14-5）

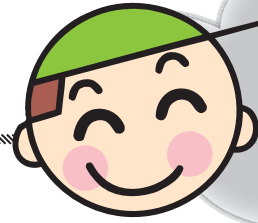
内科・小児科の急病の方の診療をします。
 受付時間：18時30分～翌朝6時30分（年中無休）
 電話 **011-391-0022**

■ 小児救急電話相談

症状に応じた助言を医師や看護師から受けられます。
 受付時間：19時～23時（年中無休）
 プッシュ回線 **#8000**
 ダイヤル回線 **011-232-1599**
 携帯

■ 北海道救急医療情報システム

休日・夜間当番医や診療科目、地域・夜間を指定して受診可能な医療機関を検索できます。
 フリーダイヤル **0120-20-8699**
 携帯 **011-221-8699**
 FAX 案内サービス **011-272-8699**
 URL <http://www.qq.pref.hokkaido.jp>



いきいき 健康生活

あなたの睡眠は快適ですか？

よく眠ることにより、一日の疲れもすっきりと解消できるものです。しかし、実際は快適な睡眠を得られないまま、翌朝に疲労感とともに目覚めることが多いのではないのでしょうか？適正な睡眠時間には個人差がありますが、たとえ睡眠時間が短くても、熟眠感があって日中も眠気に悩まされることがなければ、睡眠は足りていると考えていいでしょう。

心地よい睡眠を確保するために

- ・朝は毎日同じ時間に起床して、規則正しい生活をする。
- ・目覚めたらすぐ太陽光を浴びて、体内時計を調整する。
- ・朝食はしっかりととり、夕食は早めに済ませます。
- ・日中は散歩などで適度に体を動かす。
- ・昼寝は午後3時まで、20分程度する。
- ・就寝前は、読書や音楽などでリラックスする。



「不眠」と「うつ病」の密接な関係

よく眠れない人が注意したい点が「不眠」と「うつ病」との関わりが非常に深いということです。もし床に入ってもなかなか寝つけなかったり、夜中に何度も目が覚めるような状態が2週間以上続くようであれば、それはうつ病のサインかもしれません。そんなときはひとりで悩まず、専門医療機関や主治医に相談しましょう。

- ▼詳細 福祉課保健サービス係
 (ゆとろ内・☎23-2346)

広 告

Town Topics

タウン トピックス まちの話題

広報誌で紹介した写真を
希望者に提供します。
お申し込み
情報課広報広聴係 (TEL23-3069)



レクサンドへのいざない

3月1日 スウェーデン交流センター

スウェーデンレクサンド市から、カーリーナ・イセンベリさんら3名が本町を訪れ、スウェーデン交流センターでセミナーを行い、レクサンドの体験観光をPRしました。3名はレクサンド市で手工芸や学校教育を行う財団の役員や教師、生徒でそれぞれの立場からレクサンド市（ダーラナ州）の魅力の説明。参加した当別高校の生徒は、「伝統的な美しい町で、ぜひ行ってみたいと思った。英語をしっかりと勉強したいと思う。」と話しました。



楽しい夢をありがとう

3月13日 こども図書館（緑町）

当別小学校の隣で26年間、子ども達に読書の楽しさを伝えてきた「当別こども図書館」が閉館することになり、「おしまいのおはなし会」を開きました。

同図書館の堀江三千代代表が、スタッフの方とともに集まった30人の子どもたち、大人たちと読み聞かせを楽しみました。おはなしは、へびや猫、正直者のおじいさんなどが登場する昔話で、感情のこもったお話が進むにつれ、子ども達は物語の世界に引き込まれていきました。



534名が医療人を目指して

3月15日 北海道医療大学

北海道医療大学で学位記・卒業証書授与式が行われ534名が修了・卒業しました。

新川^{にいかわのりお}昭夫学長は「自身の専門領域における知識とスキル、態度が保証されたのだと、堂々と胸を張って社会へ巣立ってください。」と激励。晴れ着に身を包んだ卒業生は正門の前でたくさんの記念写真を撮っていました。当別町での学生生活を忘れることなく、地域社会、国際社会での活躍を期待しています。